

ビーム・サーベル



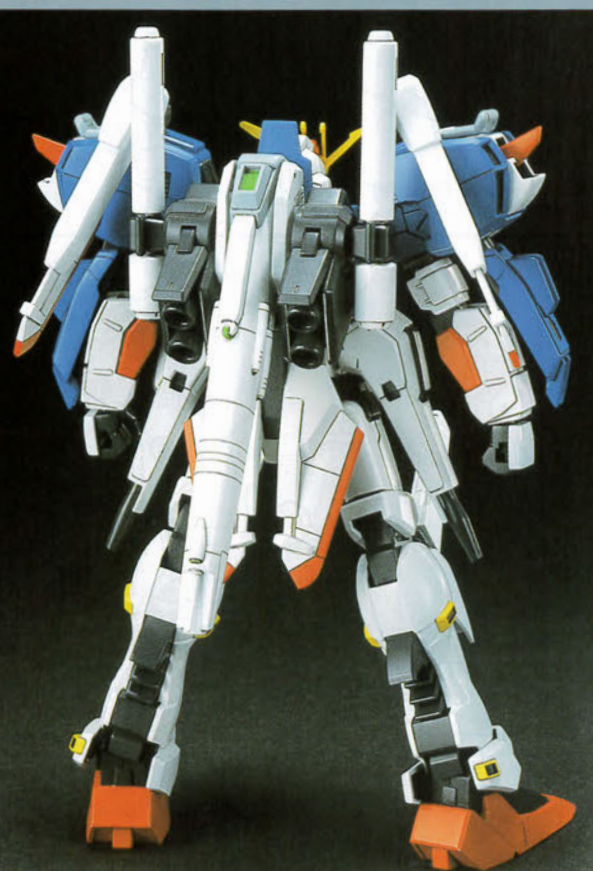
アクションポーズ



ビーム・スマートガン



リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

●本体等：

ホワイト (100%)
+ グレー (少量)
※または、ガンダムカラー
ホワイト5

●胸部等：

コバルトブルー (60%)
+ インディブルー (40%)
※または、ガンダムカラー
ブルー17

●胸部インテーク等：

イエロー (95%)
+ オレンジイエロー (5%)
※または、ガンダムカラー
イエロー1

●足等：

モンザレッド (100%)

●関節部、武器等：

ミッドナイトブルー (90%)
+ ホワイト (10%)

●肩パイプフレーム等：

エアクラフトグレー (100%)

MSA-0011 'S-GUNDAM'

E.F.S.F. PROTOTYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSA-0011
TOTAL HEIGHT : 25.18m
WEIGHT : 38.4t
TOTAL WEIGHT : 73.0t
GENERATOR OUT PUT : 7180kw
MATERIAL : GUNDALIUM ALLOY
ARMAMENTS : HEAD INCOM
HEAD 60mm VULCAN
BACKPACK BEAM CANNON
WAIST BEAM CANNON
BEAM SABER
BEAM SMART GUN
(STABILIZER VULCAN)



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2001 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0104020

BANDAI

MSA-0011 "S-GUNDAM"

"Sガンダム (通称: スペリオル・ガンダム)" は、AE (アナハイム・エレクトロニクス) がZプロジェクトに基づいて、MSZ-010ZZガンダムとほぼ同時期に"i (イオタ) ガンダム" のコードネームで開発していた試作MSである。コア・ブロック・システムの採用や機体が3機に分離して運用できるなど、基本的なコンセプトはZZガンダムと似ているように見えるが、全く異なる。機体設計そのものはもとより、追加兵装やオプション装備などが想定ミッションに対応して高度にシステム化されており、MS単体として言うより、コア・ブロックやMSを核とした兵器体系としての運用を前提として開発されている。上半身を構成するAパーツがGアタッカー、下半身を構成するBパーツがGボマー、腹部を構成するCパーツがGコアとなる。各ユニットにパイロットが搭乗したままMS戦艦を行う場合もあり、ZZガンダムとの最大の相違点といえるが、高コストぶりでは勝るとも劣らない。Exパーツが結合した状態で巡航用のGクルーザーモードへの変形も可能で、MS形態時には、A、B、C全てのコクピットがコア・ブロックに集約され、最大3人のパイロットを安全圏へと脱出させるシステムとなっている。これらの複雑な兵器システムを管制するため、MSの無人化を最終目標とする、一種の"人格"を内包したオペレーティングシステム"ALICE (アリス)" が搭載されている。

背部ビーム・キャノン
ムーバブル・フレームによってバックパックと接続されている大出力ビーム兵器。



バックパック
テールスタビライザーの基部及びAパーツとムーバブル・フレームによって連結されている推進ユニット。

ショルダー・ウイング
Gアタッカー、Gクルーザー形態時に主翼となるユニット。

コクピット
Cパーツ (Gコア) のコクピットがMS形態時のメインコクピットとなる。インターフェイスは最新のアームレイカーモジュールおよび視線追従式管制システムが採用されている。

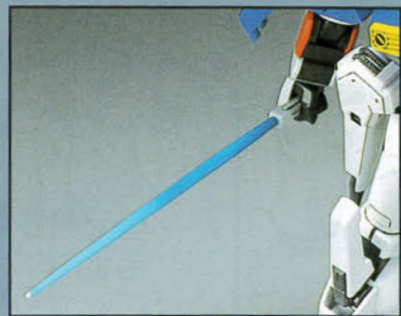
SPEC

型式番号: MSA-0011
全高: 25.18m
本体重量: 38.4t
全備重量: 73.0t
ジェネレーター出力: 7180kw
装甲材質: ガンダリウム合金
武装: 頭部インコム
頭部60mmバルカン
背部大口径ビーム・キャノン
腰部ビーム・キャノン
ビーム・サーベル
ビーム・スマートガン
(スタビライザーバルカン)



▲ビーム・スマートガン エネルギーCAPシステム使用のMS用携行兵器で、大出力のビーム・ライフルの一種。メガ・バズーカ・ランチャー程の威力はないが、取り回しが容易で扱いやすい。Sガンダムのものはムーバブル・フレームで機体と連結されている。

▼ビーム・サーベル MSの標準的な近接戦闘用の新撃武装。Sガンダムは該ユニットに装備している。



▶腰部ビーム・キャノン 脚部のムーバブル・フレームと連結しているビーム兵器。ビーム・スマートガンなどのオプション武装運用時には、専用の連結ユニットと換装される。



テールスタビライザー
Gアタッカー、Gクルーザー形態時に機首となるユニット。MS形態時はAMBACユニットとして機体の機動を補助する。内部はほとんどがプロペラントで占められているほか、センサー類や電子機器を内蔵する。

インコム
Sガンダムが頭部に装備する有線式の準サイコム兵器。

頭部60mmバルカン
近接戦闘用の固定武装。Sガンダムは頭部に4門装備する。



Gコア

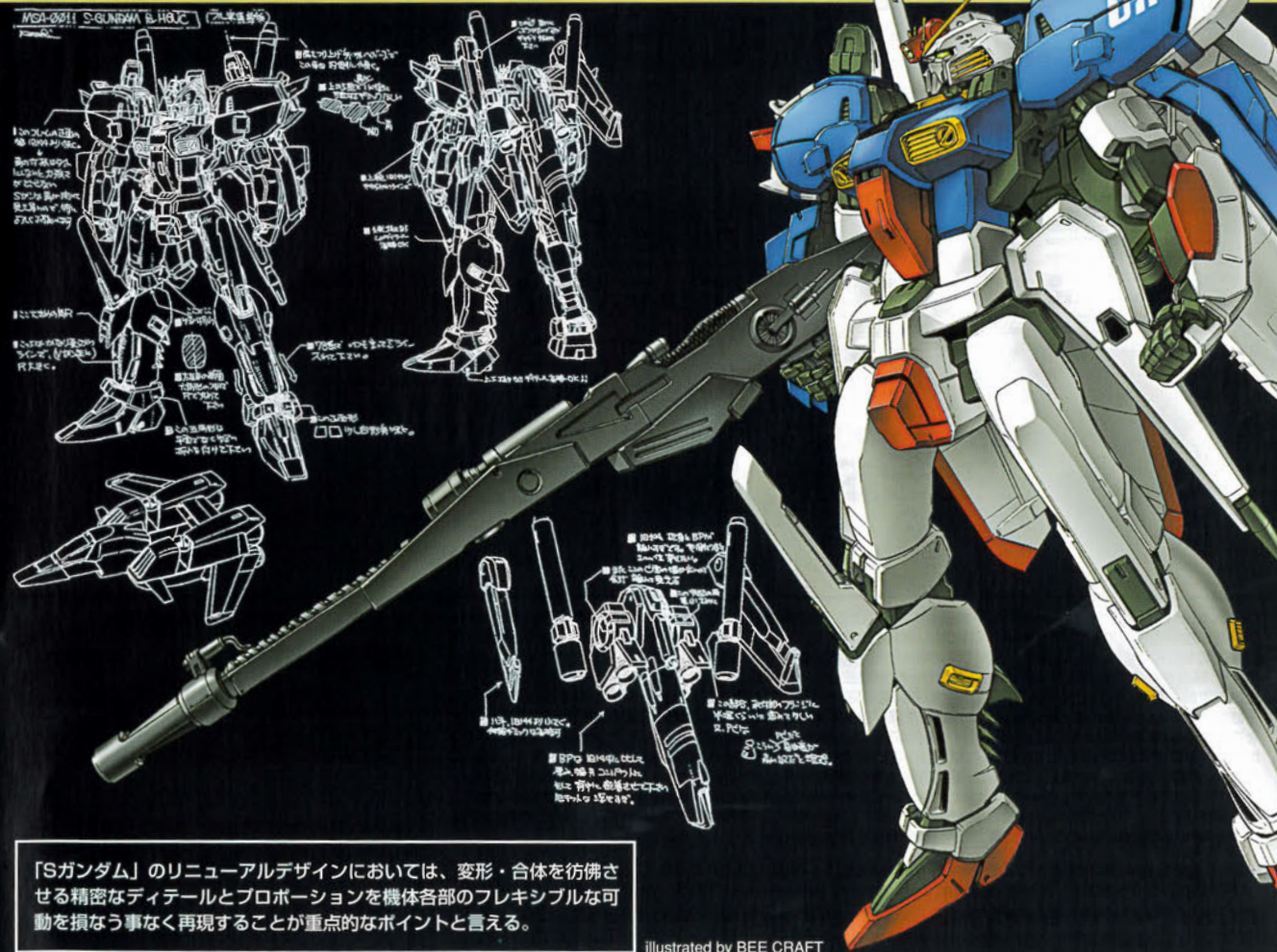
Sガンダムのコア・ブロック (Cパーツ) となる小型戦闘機。航宙/航空能力を持つ。巡航速度と航続距離はA、Bパーツと同等だが、武装は4基のミサイル・ランチャーのみ。



MSA-0011 Sガンダム
Sガンダムは、『GUNDAM SENTINEL』に登場する試作MSである。メインパイロットはリョウ・ルーツ。U.C.0087年11月16日、クワトロ・バジナことシャア・アズナブルが、ティターンズを告発するダカール宣言を行ったことにより、連邦軍はエゥーゴ主導のもと再編されようとしていた。翌0088年1月25日のティターンズ総師ジャミトフ・ハイマンの死亡を受け、1月28日、小惑星ベズンに駐留していた連邦軍教導団の一部青年将校が、エゥーゴ主導による連邦軍への恭順を拒否。ニューディサイズ (以下ND) の名で徹底抗戦を表明した。連邦軍はNDへの対抗措置として急速"α任務部隊"を編成。それぞれ9機の各回を積載するサラミス改4隻と、SガンダムおよびZプラス2機、FAZZ3機、そしてネロ3機、ネロ・トレーナー1機を擁するアーガン級2番艦"ベガスⅢ"を旗艦とする艦隊を小惑星ベズンに向け派遣する……。

協力: ホビージャパン

MSA-0011 S-GUNDAM (Sガンダム) デザインワークス (コンセプトデザイン: カトキハジメ)



「Sガンダム」のリニューアルデザインにおいては、変形・合体を彷彿させる精密なディテールとプロポーションを機体各部のフレキシブルな可動を損なう事なく再現することが重点的なポイントと言える。

Illustrated by BEE CRAFT

△ 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△ 注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



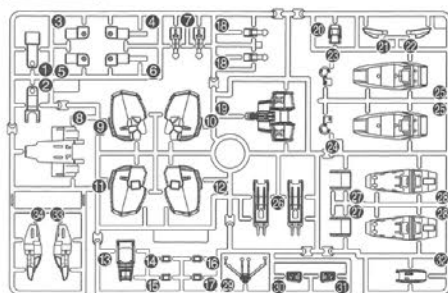
・どちらかを選んで取り付ける



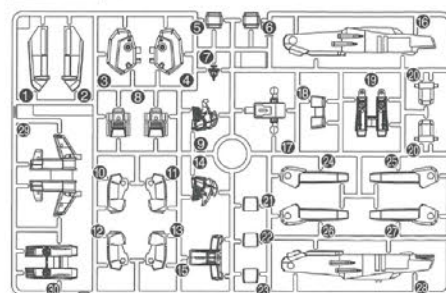
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

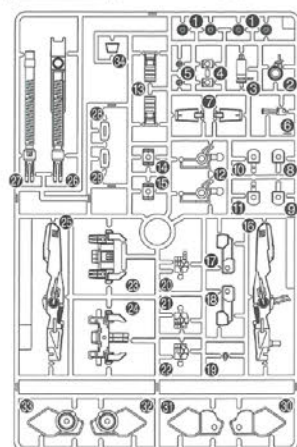
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



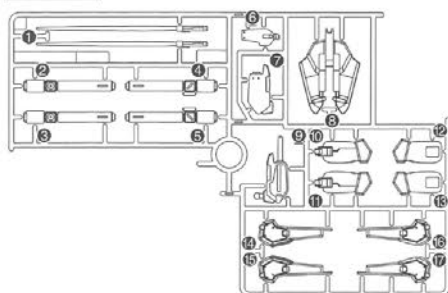
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



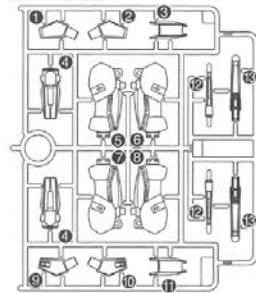
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



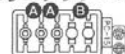
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



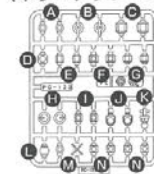
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈P.C-15〉(2枚)
(ポリエチレン: PE)



〈P.C-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



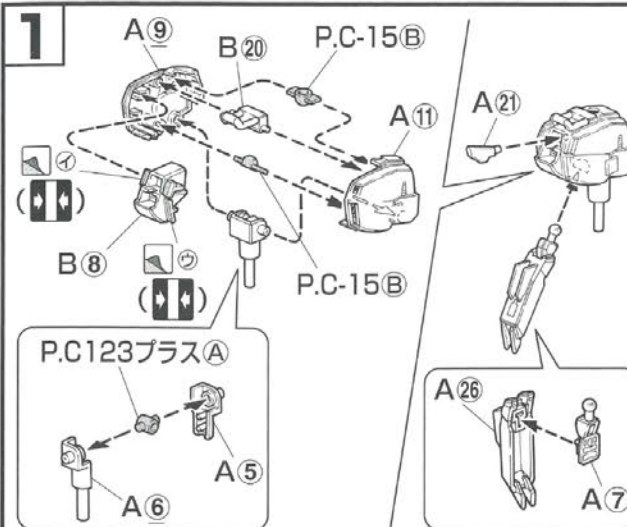
●シール……………1
●マーキングシール………1

《組み立てる時の注意》

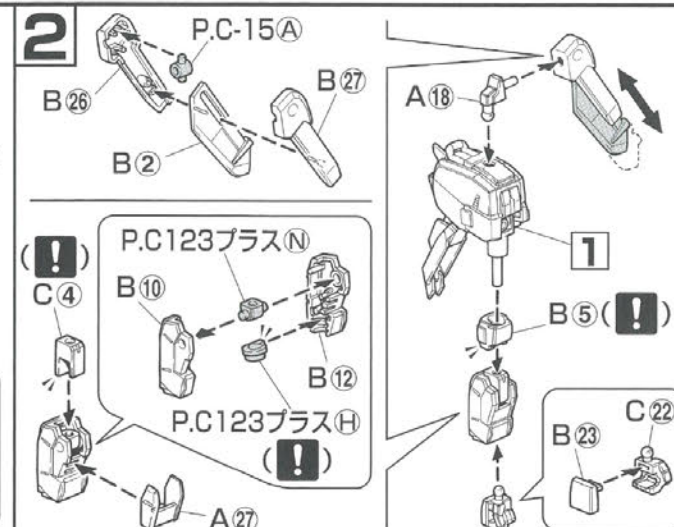
●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。

●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

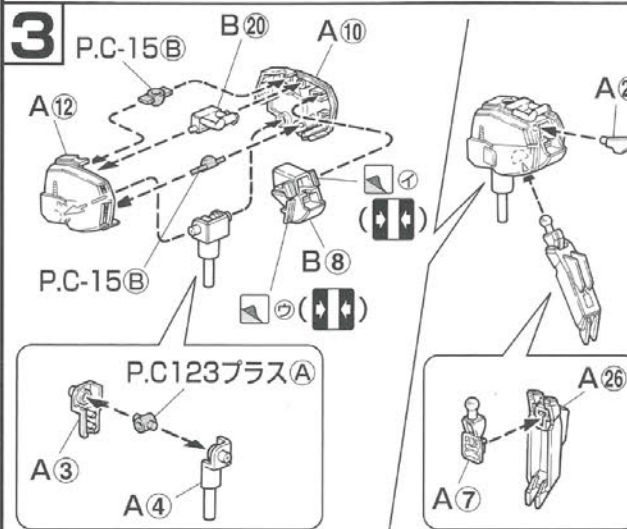
1



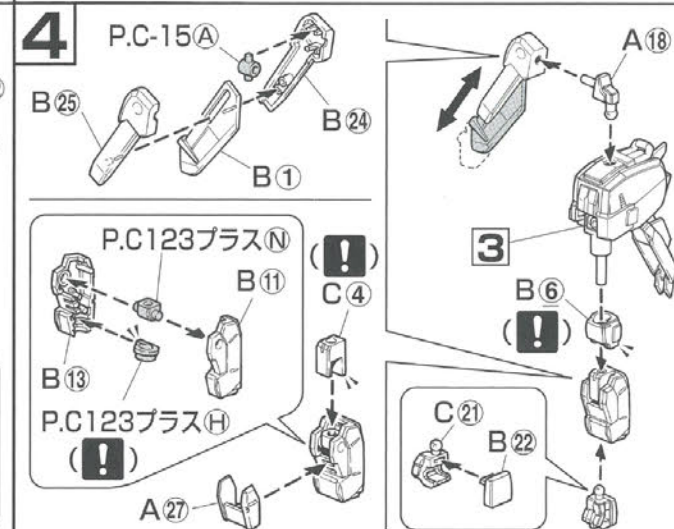
2



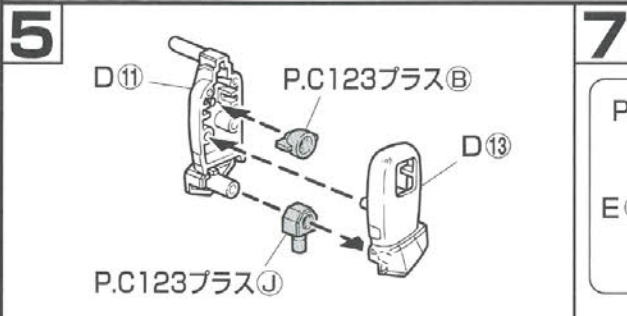
3



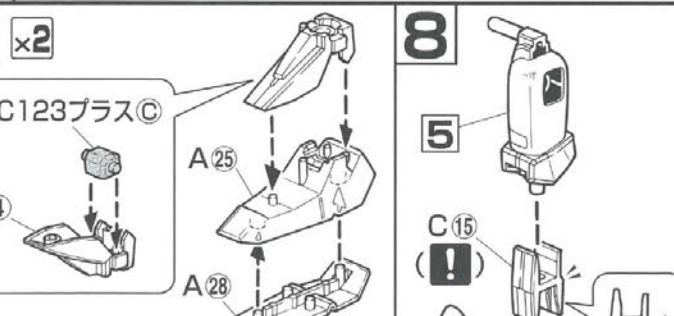
4



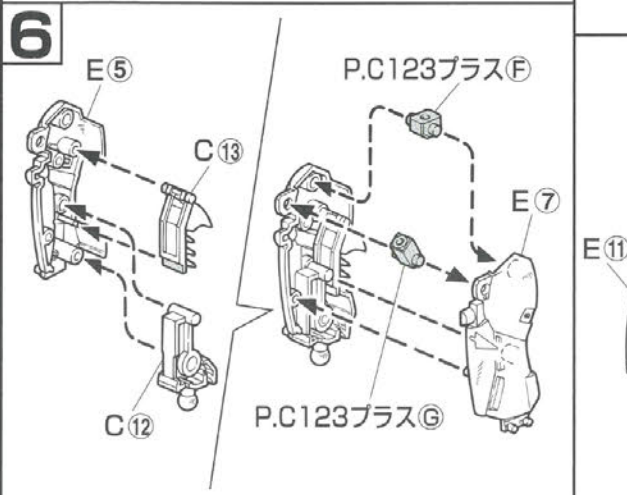
5



7



6



8

